

施設の種別	取 り 組 み	市負担額の削減効果
<p>ホブスレー・リュージュパーク (スパイラル)</p> 	<p>平成29年度をもって冬期の製氷を休止(夏期のトレーニング施設としての利用は継続)</p> <p>★ 公共施設適正化検討委員会からの提言(H29.2)</p>	<p>維持運営費 年間約9,400万円、その他施設改修費として10年間で約2億円の削減効果</p>
<p>屋外プール</p> 	<p>市民プールの廃止(統廃合)</p> <p>★ 公共施設個別施設計画に基づく統廃合</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 鬼無里B&G市民プール → 令和元年度をもって廃止 ■ 信州新町市民プール → 令和元年度をもって廃止 ■ 芹田市民プール → 令和元年度をもって廃止 ■ 茶臼山市民プール → 令和元年度をもって廃止 ■ 城山市民プール → 令和3年度をもって廃止 	<p>維持管理費年間約3,400万円、10年間では設備等の改修費用を含め約14億円の削減効果</p>
<p>グラウンド(運動場等)</p> 	<p>水害の頻繁化のため、利用者数や近傍同類施設の状況から、河川敷の運動場について以下の運動場を廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 塩崎運動場 (2面) → 令和2年度廃止 ■ 万年島運動場 (1面) → 令和2年度廃止 ■ 更北運動場 (1面) → 令和3年度廃止 	<p>維持管理費 年間約150万円、災害時の復旧費約7,800万円の削減効果</p>

参考

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備で活用が想定される補助金等

■ 国庫補助

種類	所管	補助等割合			内容等
		国	地方債	一般財源	
社会資本整備総合交付金	国土交通省	40～50%	45～54%	5～6%	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園の整備事業 ・国民スポーツ大会のための整備は重点配分事業となる

※ 地方債償還時の20%が交付税措置される

■ 県費補助

種類	補助等割合		補助限度額	内容等
	県	市		
市町村競技施設整備費補助金	50%	50%	1施設1億円 ※既存施設の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・「国民体育大会施設基準」を満たすための事業 ・中央競技団体の視察時に指摘された事項の対応に関する整備

■ その他

種類	助成メニュー	助成限度額	内容等
スポーツ振興くじ助成	地域スポーツ施設整備助成	4,800万円～2,000万円 ※整備内容により異なる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における身近なスポーツ施設の整備の促進 ・原則国庫補助との併用は不可